

のーげか新聞

やまさき脳神経外科クリニック
電話番号は
082-841-0887
ファックスは
082-841-0888
です。

院長 開院の経緯を語る

4月の開院を前に、山崎弘幸院長に開院の経緯に関してインタビューを行いました。

—以前から開業は考えていたのですか？—

山崎 いえ。2年位前までは全く開業の事は考えていませんでした。

—ではどうして開業をする事に？—

今年4月に安佐北区落合に脳神経外科クリニック完成！

山崎 最近、当直も辛くなってはいましたので、頭の片隅には、「いずれは開業かな。。場所としては、実家の近くも良いかな？」と、思っ

脳神経外科が扱う病気の中で、とても有名なのは「脳卒中」であると思います。「脳卒中」は、①脳梗塞、②脳内出血、③くも膜下出血の総称で、これらを発症すると、多くの場合、様々な症状が出現しますし、それらが改善しても、後遺症として残ってしまう事が多いです。ですから、脳卒中になってからよりも、予防に気を付ける方がより

—しているという話を頂きましたが、かなり悩みはしました。小学6年生から大学入学まで過ごし、いた、いわば私の庭の様な土地に、私以外の脳外科医が開業するという状況がどうしても私に受け入れられないという気持ち



山崎 弘幸 院長

やまさき院長って誰？

山崎院長は1967年(昭和42年)12月21日に県立広島病院にて生まれました。小学校6年の1学期までは広島市立宇品小学校に通い、6年の2学期からは広島市立真亀小学校、その後は広島市立落合中学校、広島県立高陽高等学校へ通いました。高校卒業後は徳島大学医学部に入学し、平成5年に卒業しました。卒業後は徳島大学医学部の脳神経外科学教室に入局し、徳島県内、福岡市、大分市

の病院での勤務を経て、平成19年から翠清会梶川病院へ勤務し、平成23年から現在の勤務地である光臨会荒木脳神経外科病院へ勤務しています。徳島大学で勤務している時に日本脳神経外科学会の専門医を取得し、梶川病院での勤務時に日本脳神経血管内治療学会の専門医を取得しました。更に荒木脳神経外科の勤務時に日本脳卒中学会の専門医を取得しました。

ちになり、お受けする事にしました。かなり運命的な印象も受けますが

山崎 そうですね。非常に縁のある土地ですので、地域の方に恩返しをしたいという気持ちも強いので、頑張りたいと思っ

て居ます。

重要であると言えます。脳卒中の多くでその危険因子として挙げられるのは、「高血圧症」です。

脳卒中とは何ですか？

高血圧の放置は脳卒中の予防という意味では致命的と言えます。また、「糖尿病」も危険因子として重要で、「糖尿病」になると、動脈硬化が進みやすく、血管が痛んだり、詰まりやすくなったりします。また、脳卒中を発症後の症状改善に対しても悪さをしますので、回復が悪くなったりもします。その他の「高血圧症」等も含めたいわゆる「成人病」に対する治療がひいては、脳卒中予防になるという事です。

徳島で勤務している時より「脳卒中専門病院」を目標としている病院での勤務を続けてきた事に加えて、脳卒中診療・治療に役立つ専門医を取って参りましたので、クリニック開院後も脳卒中患者様のお役に立てると思

職員の構成は

クリニック開院時のスタッフとしては、医師1名、看護師2名、放射線技師1名、医療事務員3名でスタートします。

医療事務の方3名のうち2名は新卒の方を採用いたしました。他の方は私の年齢に近い経験者の方です。とても落ち着いたクリニックになるのではな

院内設備は

やまさき脳神経外科クリニックにはシーティー(CT)とエムアルアイ(MRI)を導入いたしました。〇は主として頭部顔面の外傷の際に活躍してくれます。また、脳出血の診断にも有用です。〇は脳梗塞や脳腫瘍の診断や脳動脈瘤の検査等に活躍してくれます。

当院に勤務される放射線技師さんはこれまで脳神経外科病院で勤務されていた方ですので、正しい診断に役立つ画像を撮影してくれると思います。

頑張ります！

当クリニックは4月中旬から下旬を目途に開院予定です。開院後は地域の皆様の健康の為、努力を重ねていく所存でございます。何卒宜しくお願いいたします。

院長 山崎 弘幸